

「これって どうなの？」 ～人権週間での取り組み～ 小学校

ねらい 自分の周りにある偏見・先入観について考え、自分自身の行動について振り返る。

気づく

人権集会の劇を見て考えよう

教師や子どもの代表が演じる劇を見る。
会場の子どもたちにインタビューをして感想を聞く。
(Aさんの様子は？ Bさんの様子は？・・・思ったことは？)

留意点

- ・登場人物の行動をややおおげさに演じる。声を出して台詞を言うと言葉にこだわるので動きだけにする。
- ・会場の子どもたちに問いかけることで、考えようとする姿勢を引き出す。

参考資料

「わたし 出会い
発見パート2」
(大阪府同和教育研究協議会)

劇の例；「食わず嫌いを考えよう」

*準備するもの：テーブル1、紙皿4～5、登場人物の名前を書いたゼッケン

*登場人物と演じる役割：

Aさん...皿をのぞくが避けてしまう。マイナスイメージの言葉を次々に言う。
実際に確かめず、見たイメージだけで判断する。

Bさん...皿をのぞくが自分では試さず、Aさんに「やめとき」と言われてやめる。
自分の意思では決定できない。

Cさん...試してみる。(食べる・話しかける) 試してみて、おいしいと確信する。

Dさん...こわごわCさんに誘われて試す。(食べる・話しかける)
試してみて安心する。

*進め方：

ナレーション...「4人の仲良しが、初めての海外旅行に行きました。ホテルの夕食に見たことも食べたこともない料理が出されました。この料理を前にして4人が違った反応をしました。みなさんはどう思いますか？」

4人の登場人物がそれぞれ役割を演じる。

ナレーション...「みなさんはどう思いましたか？」

(会場へのインタビュー)

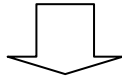
ナレーション...「今度は4人の仲良しがパーティーにいきました。知らない人がやってきました。今度も4人の反応は違います。」

4人の登場人物がそれぞれ役割を演じる。

ナレーション...「みなさんはどう思いましたか？」

(会場へのインタビュー)





広げる・深める 1

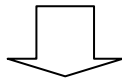
学級で劇をもとに話し合おう

集会での劇をうけて、感想を出し合う。
子どもたちと一緒にもう一度劇をしながら、それぞれの登場人物の様子や
気持ちを確認する。

留意点

- ・子どもたちに配役を決めてやらせてみることで、より理解を深めさせる。
- ・登場人物の行動を考え、自分を振り返らせる。

学級活動
ワークシートを
使用



広げる・深める 2

「偏見」について考えよう

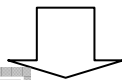
「確かめていない」ことを想像だけで避けていたことはないか、相手の気
持ちを考えずにうわさ話に乗じたことはないかなどを振り返る。

「偏見」という言葉について学ぶ。

留意点

- ・生活の中にある課題について気づかせる。
- ・自分自身で確かめることの大切さ、偏見を持つことによって人とのつながりを
奪われることの危険性、そのことに気づくことの大切さなどについて話す。

振り返る手立て
として日記帳な
どを活用する。
うわさ話の例を
教師が出す方法
もある。



振り返り、実践につなげる

話し合いを通して振り返ろう

本人に責任のない理由でいやな思いをしたことはないか話し合う。
今後の自分の行動について具体的にイメージする。

留意点

- ・差別を見抜き「おかしい」と言えるようになることの大切さを確認する。
- ・さまざまな問題がおきたときも「答えは一つ」ではなく、教師も子どもたちと
共に考え、解決策を見つけだしていくことをメッセージとして伝える。

「自分一人のでき
ること」、「友だち
と一緒にできる
こと」、「先生と
一緒にできる
こと」、「家族と一
緒ならできるとこ
ろ」をそれぞれ考
え、整理すること
で行動に表しやす
くできる。
「学級の気になる
ところ」を出し合
いながら、「めざ
す学級像」にむけ
て発展的に取り
組むこともでき
る。

